



Sustainability Report 2023

株式会社 フルッタフルッタ
サステナビリティレポート 2023

目次

chapter 1	株式会社フルッタフルッタについて 3 - 企業理念 - 企業概要	chapter 5	アグロフォレストリーの普及促進のための活動 - アグロフォレストリー産原料の購入と販売 10 - アグロフォレストリーの認知拡大 11
chapter 2	トップメッセージ - 経済のチカラで荒廃地を森にかえたい 4	chapter 6	アグロフォレストリーが貢献するSDGs - 環境面への貢献 13 - 経済面への貢献 16 - 社会面への貢献 18
chapter 3	実現したい未来 - 2030年までに達成する目標 5 - 【資料1】アグロフォレストリーについて 6 - 【資料2】パートナー CAMTAについて 7	chapter 7	事業を通して貢献しているSDGs - 天然のサプリメントで叶える健康 20 - 【資料3】アサイーの造血機能性について 23 - 共感を生む製品をつくる 24 - きずなを大切にしている会社に 28
chapter 4	SDGsの取り組みについて 9		

編集方針 一杯のジュースから森林再生を。

フルッタフルッタは、2002年に神戸でオープンした小さなジュースバーからスタートした企業です。一杯のジュースの先にあるのは、ビジネスの力でアグロフォレストリーの発展に貢献し、アマゾンの荒廃地を緑に蘇らせることでした。

本レポートは、経済と環境が共存共栄する持続可能な社会の実現に向けて、アグロフォレストリーの発展を応援する当社の取り組みを報告するものです。

最新の活動内容および詳細はウェブサイトをご覧ください。 <https://www.frutafruta.com/>

1 株式会社フルッタフルッタについて — 2002年、それは一軒の小さなジュースバーから始まった —

ブラジル・アマゾンに渡った日本人移民が創立したトメアス総合農業協同組合(以下 CAMTA)と出会い、彼らが確立した栽培手法である「トメアス式アグロフォレストリー」(混農林法)に当社の長澤が共鳴したことが創業のきっかけです。「自然と共に生きる」を理念に掲げ、森をつくる農業「アグロフォレストリー」の発展にビジネスの力で貢献し、経済と環境が共存共栄する持続可能な社会の実現を目指すというパーパスが立ち上がりました。



経済のチカラで、荒廃地を森にかえたい



アグロフォレストリーは、日本人の農家の知恵が生み出した、世界に誇る農法です。ベースには日本人の「自然から学ぶ」姿勢、里山の DNA、土地を愛する気持ちが込められており、単一栽培の失敗から熱帯の厳しい環境の中で生き抜くために生み出されたものです。数十種類もの多様な農林作物を混植するこの未来型の農法を世界に広めることが出来たら、生産活動を通して世界の荒れ地を緑に変えることができる ... と、私は 2002年、ビジネスの力でアグロフォレストリーの拡大に貢献しようと起業を決意しました。

フルッタフルッタは、アサイーをはじめとするアマゾンフルーツを、日本からブラジルへ渡った農業移民の偉業への敬意を込めて日本に届けています。ビジネスである以上は利益と切り離すことができませんが、環境と共存しない利益は追求しないことを私たちの志としています。フルッタフルッタ・パッションともいうべきその想いが、人々の美容と健康に役立つ革新的な商品だけではなく、それらをヒット商品に育てることでアグロフォレストリーの拡大を促し、荒廃地を緑に変えていきたい。それこそが我々の使命であり、フルッタフルッタそのものなのです。

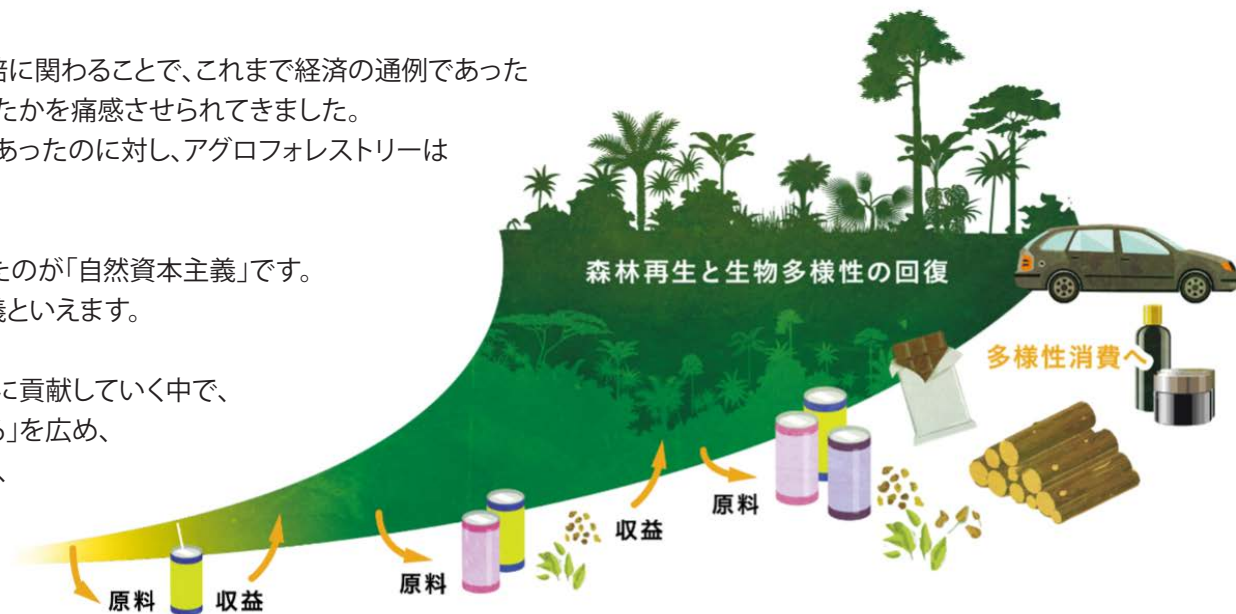
代表取締役社長執行役員 CEO
長澤 誠

// フルッタフルッタは2030年までに アグロフォレストリー原料の使用を通して 累計450,000トン^{※1}のCO₂削減を目指します。 //

フルッタフルッタでは、アグロフォレストリーの多様性栽培に関わることで、これまで経済の通例であったモノカルチャー栽培が如何に自然と逆行する手法であったかを痛感させられてきました。そして、従来の農業が自然資本^{※2}を搾取する経済活動であったのに対し、アグロフォレストリーは自然資本を保全し回復させる未来型の農法といえます。

従来の資本主義に対し、限りある自然資本を中心に据えたのが「自然資本主義」です。その生産性の改善と回復に重点を置いた新しい資本主義といえます。

私たちは、事業活動を通してアグロフォレストリーの発展に貢献していく中で、アグロフォレストリー概念ともいえる「自然と共に生きる」を広め、この新しい経済メカニズムを日本国内及び世界に提唱し、経済と環境が共存共栄する持続可能な社会を実現することを目指し、上記目標設定と致しました。



※1 目標値は、中長期計画で見越している2031年3月期までの売上高（取引高）から算出したアグロフォレストリー原料の調達量に基づき、そこから得られるCO₂削減量を創業時から累計して算出しています。なお、現時点では63,000tを削減している見込みです。削減量の計算方法については【7. 共感を生む製品をつくる】をご覧ください。

※2 自然資本：植物、動物、土壌、鉱物、水、大気など、自然によって形成される資源のこと

3 【資料1】 アグロフォレストリーについて

「アグロフォレストリー (SAF^{※1})」は1970年代中期につくられた造語で、「農業」のアグリカルチャーと「林業」のフォレストリーが合成されています。日本語では、農林複合経営、混農林業、森林農業ともいわれ、複数の農産物や樹木を混植することにより、単一栽培に比べて生態系が多様な農場が構成されます。

世界では東南アジア、中南米、アフリカなどで様々な事例がありますが、中でも近年特にブラジルのアマゾンエリアに位置するトメアスのCAMTAが実践するアグロフォレストリーは、持続可能な農業として世界から注目されています。



トメアスにおけるアグロフォレストリー (以下 SAFTA^{※2}) は、アマゾンの荒廃地に多様な果樹や材木、単年性の作物の苗や種を植え、森の様な農場を構成していきます。これにより1年目から将来に渡って収穫を得ることができ、従来の単一栽培ではできなかった持続的な生産が可能となります。アグロフォレストリーは森をつくるだけでなく、雇用を生み、地域の発展にも寄与するなど、社会・経済・環境の側面からメリットがあり、世界中からサステナブルな農法として期待されています。

※1 SAF : Sistema Agroflorestal (ポルトガル語) の略称

※2 SAFTA : Sistema Agroflorestal de Tomé-açu (ポルトガル語) の略称

3 【資料2】 パートナー CAMTAについて (1)

アマゾンの日系農協 CAMTA (トメアス総合農業協同組合)

CAMTA(トメアス総合農業協同組合 正式名称: Cooperativa Agrícola Mista De Tomé-Açu)は、ブラジルのアマゾン地域に位置するパラ州トメアスに渡った日本人移住者が、アマゾンという辺境の地で経済的に自立するために1931年に創立した農業組合です。

組合員の生産物を市場へ流通させること以外に、設立当初は日本語学校や病院の運営も行うなど、移住者達の生活を支え街の発展を先導してきた移住地の中枢を担う存在です。

フルッタフルッタは、アマゾンフルーツのパイオニアとして高品質の商品をお客様にお届けするために、CAMTA からアマゾンフルーツピューレを直輸入しています。

フルッタフルッタは CAMTAのアジアにおける独占代理店であり、フルッタフルッタが市場開拓と販売、CAMTAが栽培と生産を担うパートナーとして唯一無二の関係を築いています。

1988年に設立されたジュース工場では、組合員から買い取ったフルーツを搾汁しピューレに加工しています。アグロフォレストリーならではの少量多品種にも対応可能であり、青果で販売するよりも付加価値がつくことや、インフラが十分ではないアマゾンの内陸部でも生産物を換金できる仕組みがあることは、組合員の持続的な農業経営の支えとなっています。

所在地: パラ州トメアス市

組合員数: 172名(他登録生産者: 約1,800名)

主な事業: 乾燥カカオ豆・コショウ・苗の販売、
植物油脂・冷凍ピューレの製造販売、
直売所運営、電気・電話事業

工場製造能力: 5,000t/年

工場冷凍貯蔵能力: 4,000t



3 | 【資料2】 パートナー CAMTA について (2)

日本人移住地「トメアス」とアグロフォレストリーの歴史

トメアスはアマゾン川の河口の都市ベレン(パラ州都)より約 200km 南に位置する町で、アマゾン地帯において最も古く最大規模の日本人移住地です。現在では 200 戸あまりの日系人家族が暮らしています。

日本人の移住はパラ州からの誘致と日本政府による移民事業により 1929 年にはじまります。一時はコショウの一大生産地として富を得ましたが、病害や水害により壊滅的な被害を受けたことにより、CAMTA の先導で混植栽培が取り込まれ、アグロフォレストリーが誕生しました。今やアグロフォレストリーはトメアスの主流であり、彼らの栽培技術は周辺のブラジル人零細農家にも普及し、地域の発展に寄与しています。

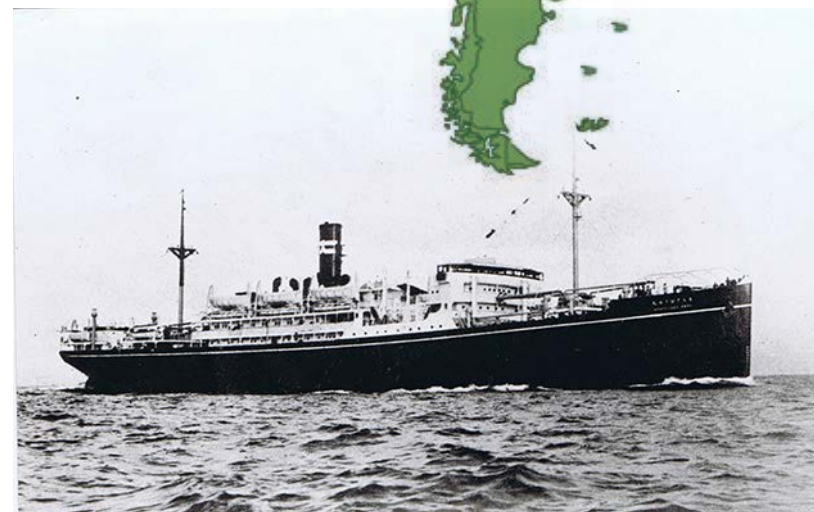
アグロフォレストリーは、アマゾンの自然と戦い、共に生きることを学んだ移住者たちが出した答えであり、フルッタフルッタが運ぶアマゾンフルーツには彼らの歴史と想いが詰まっています。



原生林を伐採する様子



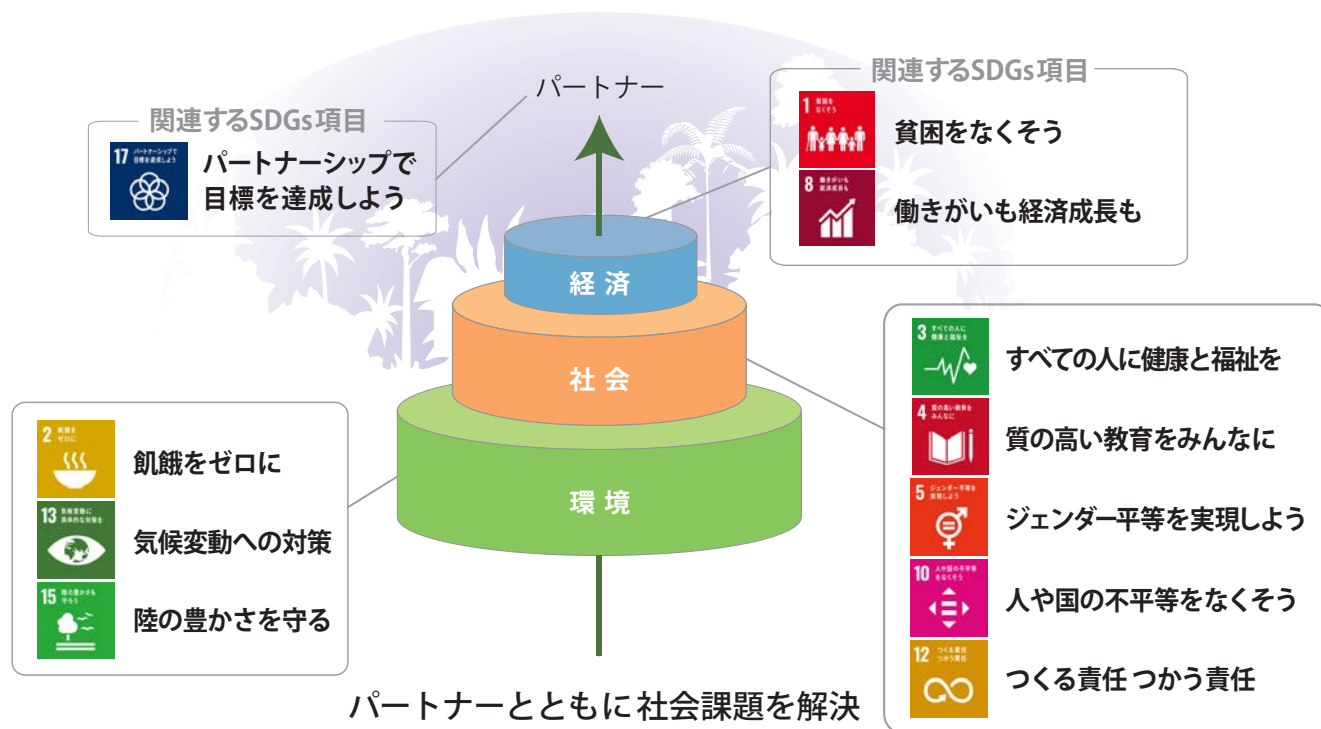
コショウ栽培の様子



もんてびでお丸 (画像提供: 商船三井)

4 | SDGs の取り組みについて

私たちの使命は、経済と環境が共存共栄する持続可能な社会を創造することです。アグロフォレストリーで栽培されたアマゾンの恵みを世界にお届けすると共に、アグロフォレストリーの発展を市場側から促進するなどの様々な活動を通して、SDGs が掲げる社会課題の解決に貢献することを目指しています。



活動のテーマとする大きな柱

1 市場側からのアグロフォレストリーの普及促進

市場側からアグロフォレストリーの発展を促すことで、生産地の所得格差の緩和、森林破壊の抑制、生物多様性の回復、気候変動への対策などのSDGsの達成に貢献できるよう活動してまいります。

詳しくは [chapter5,6 \(p.10~\)](#) をご覧ください

2 アサイーやアマゾンフルーツの機能性活用による健康サポート

当社が扱うアサイーやアマゾンフルーツは、天然のサプリメントの如く機能性が期待されるものも多く、日々の体調管理における活用を訴求し人々の健康的な生活の実現を促進しています。

詳しくは [chapter7 \(p.20~\)](#) をご覧ください

3 エコをベースとした取り組み

自社の事業においても、持続可能な原材料の調達や環境負荷の低減などに取り組み、より環境に優しい経営を目指しています。

5 | アグロフォレストリーの普及促進のための活動

生産者が持続的な農業を行うには「利益」が必要不可欠であり、利益の還元が大きいほど荒廃地を農地（緑地）に変えていく原動力となります。そのため、アグロフォレストリーで栽培された農作物を CAMTA を通して原料で買取り、市場に流通させ更なる市場開拓や需要喚起を行うこと、そしてアグロフォレストリーの知名度拡大に取り組むことは、生産者の活動を市場側からバックアップするためのフルッタフルッタの大切な役割です。

アグロフォレストリー産原料の購入と販売

アマゾンフルーツピューレの輸入加工販売



CAMTA から輸入したアマゾンフルーツピューレは、日本国内外のメーカーや外食チェーンへ販売を行うほか、「ナチュラル・新鮮・おいしい・本物」をモットーとする自社商品を製造し、販売を行っています。

カカオ豆の輸入販売



カカオ豆に関しては他社との協業を行っており、その成功例といえるのが、大手菓子メーカーへのカカオ豆の販売です。全国的に販売されるメジャーなチョコレート菓子の原料として採用されたことや、年々高まるメーカーからの需要は生産者達のモチベーションとなっています。

5 | アグロフォレストリーの普及促進のための活動

アグロフォレストリーの認知拡大

フルッタフルッタでは事業活動や広報活動を通して、生活者の皆様をはじめ、流通のバイヤー、メディア、教育機関などを対象に情報発信を行っています。

製品を通じた情報発信

アグロフォレストリー由来の原料を使用した当社製品の裏面に、アグロフォレストリーのロゴや CO₂削減マークの簡易的な説明と、詳細ページへリンクするQRコードを記載しています。
(参照： P.24 7. 共感を生む製品をつくる)

流通業界や環境関連イベントにおける発信

製品の営業活動として出展しているビジネス展示会では、アグロフォレストリーのパネル展示を行い、来訪される流通関係者の皆様に製品の付加価値の一つとしてお伝えしています。
さらに、環境関連のイベントでは、SDGs の関心が高い来場者に向けて情報発信し、一人でも多く共感していただけるよう活動しています。

メディアへの情報提供

メディアに対しアグロフォレストリーの情報提供を行い、これまでテレビや新聞、ラジオ、雑誌、WEBメディアなど様々な媒体を通して情報発信してまいりました。



5 | アグロフォレストリーの普及促進のための活動

オウンドメディアによる情報発信

コーポレートサイトやSNSを通して情報発信を行い、直接的なコミュニケーションを図っています。

講義・レクチャー

中学・高校・大学生に対しアグロフォレストリーに関する講義やレクチャーを行っています。規模はさまざまで、一人からグループ、大勢までご希望に応じた形式で実施しています。

教材製作への情報提供

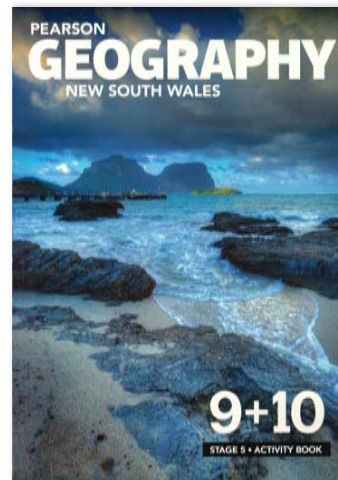
教材の製作会社より情報提供の依頼を受け、国内外の教育現場で使われる社会科や地理などの教科書やビデオにアグロフォレストリーの情報が掲載されました。



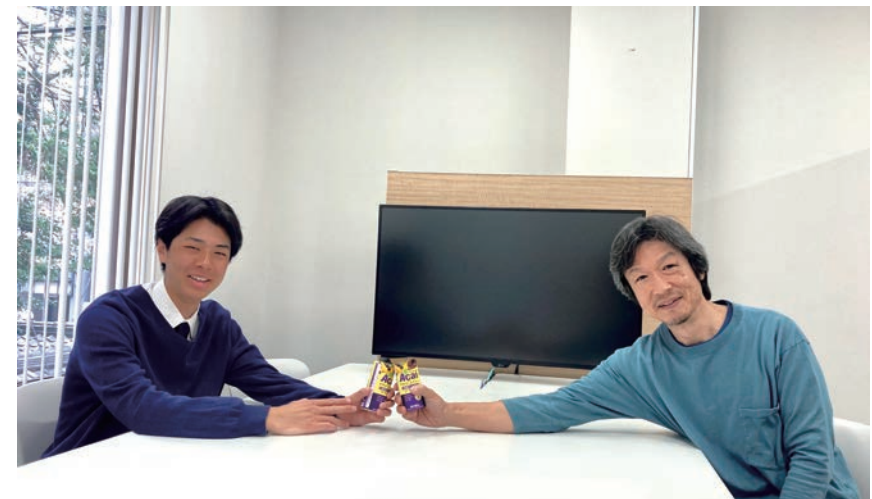
中央大学経済学部より
ゼミ生ご来社



『わたしたちの地理総合』
世界から日本へ
(二宮書籍 2022)



『PERSON GEOGRAPHY STAGE 5』
(PEARSON 2016)



桐蔭学園高等学校より
生徒さんご来社

6 アグロフォレストリーが貢献する SDGs > 環境面への貢献

トメアス式アグロフォレストリー (SAFTA) のメリットは、右図の通り大きく「経済」「環境」「社会」の3つに分けられます。生産者は持続的な収入によって経済的な安定が得られ、不法伐採の抑制や生物多様性の回復、二酸化炭素の吸収といった環境的なメリットのほか、雇用が創出されることによる地域の生活・教育水準の向上や治安改善などの社会的なメリットが得られます。雇用を生み、地域の発展にも寄与するなど、社会・経済・環境の側面からもサステナブルな農業として期待されています。

フルッタフルッタは、SDGs が掲げる持続可能な社会の実現に向けて、さまざまな面で貢献しています。運命的な出会いから始まった CAMTA とのきずなを通し、市場側からサポートすることで、アグロフォレストリーから始まる豊かな自然の再生により、地球と人々の暮らす環境を守り、より良いものにしていきます。

環境面への貢献

アマゾン熱帯雨林は、地球上の森林の約半分、そして陸地の生物種の約3分の1を占める、地球上でも最も生物多様性に富んだ地域です。しかし、近年、農地や牧草地、道路建設などの開発によって、アマゾン熱帯雨林の森林破壊が進んでいます。一方で、“森をつくる農業”アグロフォレストリーは、農業という経済活動でありながら、森林を守り、育て、多様な生物の住処となる、単一栽培では成し得なかった経済と環境を両立する未来型の農法です。

- 1 温室効果ガスの削減
- 2 森林の再生による生物多様性の回復
- 3 アマゾンの土壌を守り、はぐくむ
- 4 安定した農業経営および集約的農業による森林伐採の抑制



関連するSDGs項目



飢餓をゼロに



気候変動への対策



陸の豊かさを守る

6 | アグロフォレストリーが貢献する SDGs > 環境面への貢献

1 温室効果ガスの削減

アグロフォレストリーの農場では、樹木を含むさまざまな作物が成長するために、温室効果ガスの大半を占める CO₂(二酸化炭素)が吸収されていきます。

荒廃した土地をアグロフォレストリーの農地に変えていくことでCO₂の吸収が促進(大気中の CO₂を削減)され、農地に炭素が固定されます。アグロフォレストリーによる生産物を企業努力によって市場拡大することが、ひいては CO₂の吸収源となる森林面積の拡大に繋がるものと期待し、フルッタフルッタは市場側からの普及拡大をサポートしていきます。

2 森林の再生による生物多様性の回復

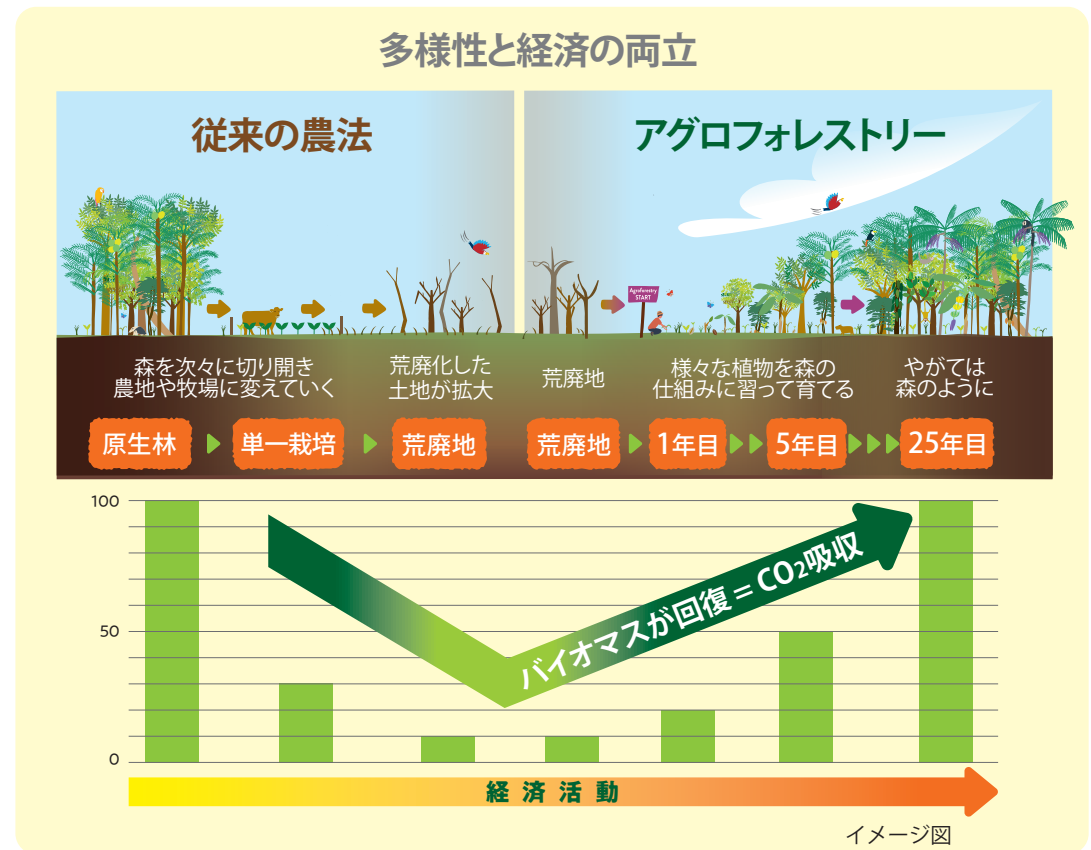
アグロフォレストリーは、森林伐採により失われてしまった生態系のバランスを取り戻し、自然のエコシステムの再生を促進します。例えば、農地に蜜を求める昆虫や鳥が集まってくると、それらを補食したり共生する他の生物が農地を訪れ生息するなどして、農地内の植生※1が多様であればある程複雑な生態系が確立されていきます。

生物多様性の回復は、陸の豊かさを守るために必要不可欠です。そして、モノカルチャーの単一栽培は病害虫のリスクが大きいことに対して、アグロフォレストリーは多様な作目※2により病虫害による被害が発生してもリスク分散が可能であり、より安定した農業経営が可能となります。生物多様性が豊かな環境では、さまざまな生物が相互に関わり補いながら生活しており、生態系のバランスが保たれています。このバランスが崩れると、生態系の機能が低下し、生物の個体数や種の数が増減してしまいます。また、生物多様性の回復はアグロフォレストリーの作物にも良い影響を与えます。

このように、アグロフォレストリーは生物多様性を豊かにし、生態系の健全性を維持する役割を果たします。

※1 植生：ある場所に生育している植物のまとまりのこと。

※2 作目：農地で栽培される作物の種類。



6 | アグロフォレストリーが貢献する SDGs > 環境面への貢献

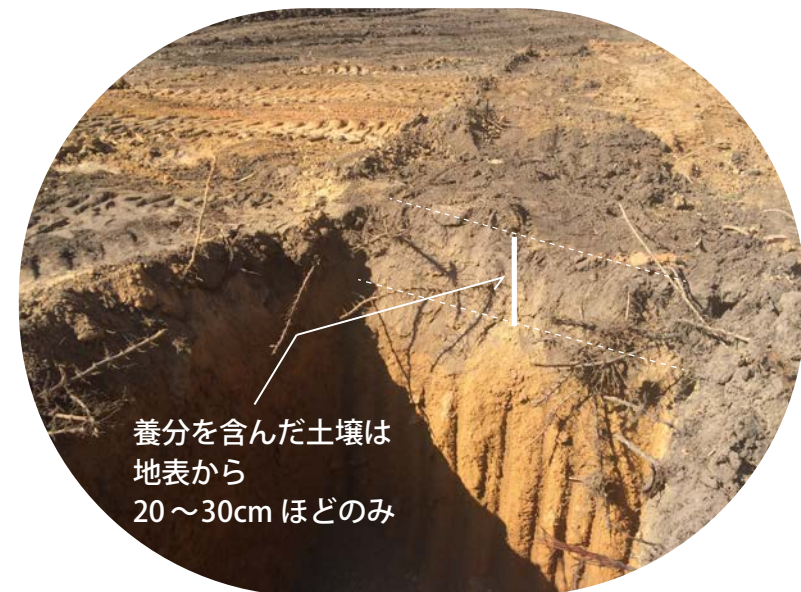
3 アマゾンの土壌を守り、はぐくむ

生産地では、アグロフォレストリーによる自然の循環により農薬や化学肥料を極力控えた農業が行われ、土壌汚染の防止に繋がっています。これにも「多様性」が深く関係しており、先述の通り生態系のバランスが整うことによって作物の病虫害の原因となる菌や虫の増殖が抑制されます。また、アマゾンの土壌は一般的に養分が乏しく、一旦森林が伐採されてしまうと太陽熱や多量の降水で土壌流失や浸食が起こり、土地の生産力が失われていきます。一方、アグロフォレストリーでは落葉の多い樹木によって有機物が供給され、他の作物の養分となり肥沃な土壌を作り出します。

4 安定した農業経営および集約的農業による森林伐採の抑制

SAFTA は、「1 年目から何かしらの収穫や収益を得られること」や、上述の通り農地の多様性による病虫害からのリスク分散や、省農薬・省化学肥料のため生産コストを抑えるなどして、生産者はより安定的な農業経営を実現することができます。

そして、アグロフォレストリーは集約的※1 であるため、新たに森林を切り開かずとも一定の農地内での安定的な収益を得ることができ、荒廃地拡大の抑止力となることが期待されています。



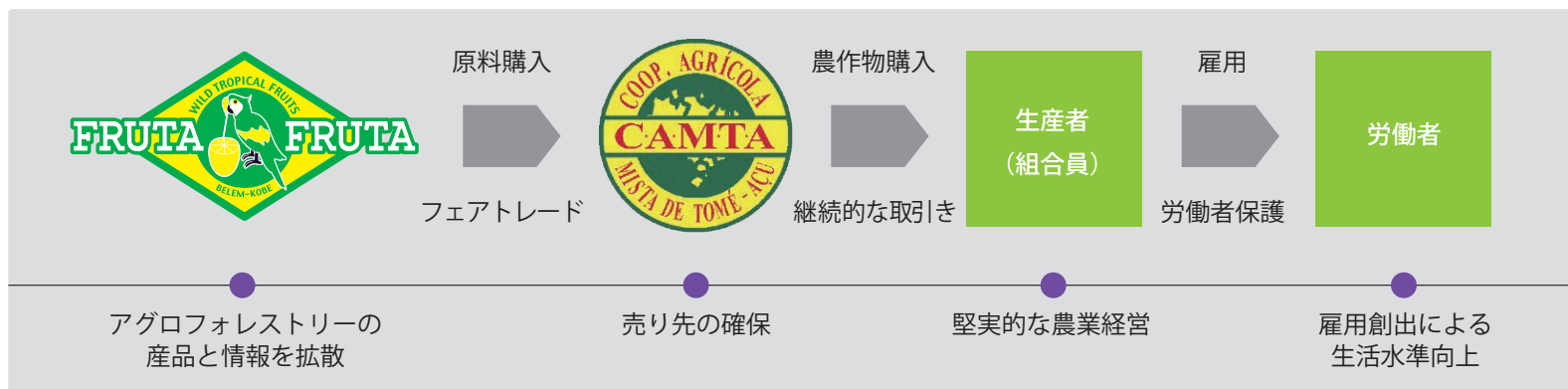
※1 集約的農業：単位面積に対して労働力や資本を多量に投下された農業

6 | アグロフォレストリーが貢献する SDGs > 経済面への貢献

経済面への貢献

SAFTA の経済的なメリットは、環境面と社会面のメリットと密接に関わっています。むしろ、経済的なメリットが成り立つことによって二つのメリットが得られていると言っても過言ではありません。アグロフォレストリーによる「安定収入」と「経済的自立」があってこそ生産地周辺の環境が守られ、人々は生活にゆとりを得ることができ、地域社会の安定や発展につながっていきます。

アグロフォレストリーは世界各地で様々な実践例がありますが、その中でも SAFTA は経済的にも持続可能なサクセスパターンとして注目されています。ここでは、アグロフォレストリーが生産地に及ぼす経済的メリットを、農協と生産者、労働者に分けて紐解いていきます。



経済的自立 × 安定収入

社会・環境面への好影響

1 対農協 — フェアトレードと売り先の創出

2 対生産者 — 堅実な農業経営

3 対労働者 — 雇用の創出

関連するSDGs項目



貧困をなくそう



働きがいも経済成長も

6 | アグロフォレストリーが貢献する SDGs > 経済面への貢献

1 対農協 — フェアトレードと売り先の創出

フルッタフルッタが CAMTA よりアマゾンフルーツ原料を購入する際、両者は対等なパートナーであり、フェアトレードに相応する取引を行っています。また、CAMTA から購入した原料を日本国内外へ販売し、販路拡大に努めています。(参照：P.10 5. アグロフォレストリーの普及促進のための活動) 幾らアグロフォレストリーがエシカルな農法だとしても、売り先がなければ農業は成り立ちません。市場側からアグロフォレストリーを支えていくには売り先の創出は必要不可欠であり、フルッタフルッタの大事な役割の一つです。

2 対生産者 — 堅実な農業経営

生産者 (CAMTA 組合員および SAFTA 実践農家) においては、CAMTA が生産物を購入することによる売り先の確保のほか、SAFTA の特長の一つである「1 年目から何かしらの収穫・収益を得られる」(参照：P.6 8. (1)アグロフォレストリーについて) ことや、収穫時期やリスクを分散することで、農家の収入を多様化し、より安定的で持続的な収益を得ることができます。単一栽培の大規模農業の様な短期的な多量の収益は見込めないまでも、堅実な経営によって持続的な農業が可能となります。

また、SAFTA は集約的で小規模な土地でも着手しやすいことから、小規模から SAFTA を始めた零細農家が、徐々に収益を増大し地域経済の発展にも貢献しているという例も見られます。売り先があることや市場側での需要拡大は生産者達のモチベーションとなり、ひいてはアグロフォレストリーを拡大し、荒廃地を緑地に回復させていく原動力となります。

3 対労働者 — 雇用の創出

CAMTA の工場や生産者の各々の農場では、地域の住民を労働者として雇用しています。工場の稼働率の向上や、多様性から成るアグロフォレストリーはその作物ごとに異なる栽培管理や収穫があり、地域の人々に雇用機会を創出します。これにより、労働者は適切な報酬を得ることができ、働きがいが増え、生活の安定や貧困の問題を解決する一助となっています。

6 アグロフォレストリーが貢献する SDGs > 社会面への貢献

社会面への貢献

SAFTA の社会的なメリットは、先述の通り経済的な安定が基盤となっています。アグロフォレストリーによる安定的に収入を得る手段は、生産者や労働者の生活水準を高め、地域全体を良くする好循環が生まれています。

CAMTA は、かつて組合員が犯罪のターゲットとなる事件が相次いだ時代に、組合員ばかりが SAFTA で潤うのではなく、地域全体の生活水準向上や治安改善を目的に周囲の零細農家や労働者層に SAFTA の指導を行い、現在もその活動が継続されています。

これによって地域全体を発展させた功績が称えられ、2010年にCAMTAが国家統合省から「第一回地域発展貢献賞」(国家表彰)の最優秀賞を受賞し、ルーラ大統領(当時)から表彰されました。

アグロフォレストリーは森を育てる一方で、「ヒトを育てる農業」とも言われており、人々の安定的な暮らしの礎となっています。

関連するSDGs項目



質の高い教育をみんなに



ジェンダー平等を実現しよう



人や国の不平等をなくそう

1 生活水準向上

2 児童労働を防止し、性別を問わず教育を受けられる環境が整う

3 地域全体の治安を改善し住み良い街づくりに



6 | アグロフォレストリーが貢献する SDGs > 社会面への貢献

1 生活水準向上

SAFTA の安定的且つ持続的に収益を得られる仕組みや、雇用創出により、CAMTA の組合員をはじめ労働者層も収入を確保することができ、経済的な潤は地域全体の生活水準の向上に寄与しています。

2 児童労働を防止し、性別を問わず教育を受けられる環境が整う

CAMTA では、組合として工場で労働者を直接雇用する場合や、組合員が各々の農場で雇用する場合においても未成年者を採用しないというルールを設けています。児童労働を行わないことや、アグロフォレストリーの雇用創出により親の収入で生計を立てられるようになると、子どもは学校に通えるようになり、貧困により教育の機会を奪われやすい女の子も、性別を問わず教育を受けられるようになります。

アグロフォレストリーによって雇用の機会を創出することは、子どもの教育の機会の創出でもあり、より質の高い教育を受けられる環境づくりが行われています。

3 地域全体の治安を改善し住み良い街づくりに

世界有数の犯罪大国とされるブラジルでは、人々は犯罪と隣り合わせの日常を送っています。犯罪の原因は様々ですが、前述の通りトメアスで組合員が標的となった事件は強盗や強盗殺人であり、組合員が経済的に豊かになったがための悲劇でした。

CAMTA や組合員が SAFTA の技術を広めるにつれ、周辺の住民も経済的に安定し、次第に犯罪発生率が低下しトメアスは安全な街として変遷していきます。治安の良さは人々の安定した暮らしを後押しし、更なる地域の発展を促進していきます。

7 事業を通して貢献しているSDGs > 天然のサプリメントで叶える健康

前項の『アグロフォレストリーが貢献するSDGs』は、CAMTAが主体であり、当社は市場側のインフルエンサーとしてそれを情報発信していく役割にあります。これに対し、本項は当社自身の活動でSDGsの達成目標に貢献していくものとなります。

天然のサプリメントで叶える健康

生活者の皆様の健やかで幸福な生活を実現するために、栄養価に優れたアサイーをはじめとするアマゾンフルーツをお届けすることも、フルッタフルッタの大切な使命の一つです。



弊社の具体的な取り組み

- 1 スーパーフードの筆頭格「アサイー」による社会貢献
- 2 天然のサプリメント「アマゾンフルーツ」で健やかな生活を

関連するSDGs項目



すべての人に健康と福祉を

7 事業を通して貢献しているSDGs > 天然のサプリメントで叶える健康

1 スーパーフードの筆頭格「アサイー」による社会貢献

当社が扱うアマゾンフルーツの中でも特に注目されているアサイーは、突出して栄養価が高いスーパーフードの筆頭格です。

1粒あたり5%ほどしかない可食部にポリフェノールや鉄分、ビタミンE、不飽和脂肪酸など豊富な栄養素や抗酸化成分を蓄えていることから、現地では15世紀の大航海時代以前からアマゾンの先住民の貴重な栄養源として食されてきました。

アサイーは当社では、近年千葉大学との共同研究により明らかとなった「造血機能性」(参照：P 23 アサイーの造血機能性について)をテーマに、貧血に悩む女性やアスリートへの啓もうに取り組んでいます。極度の貧血の場合は鉄のサプリメントや鉄剤の摂取が推奨されますが、副作用による体調不良を来す場合も多く、容易に解消できないことも悩みの種とされています。一方でアサイーの場合はフルーツから鉄を摂取することができ、尚且つ美味しく続けられることが多くの方々に支持されています。

当社では今後も引き続きアサイーの機能性研究の推進や造血機能性を積極的に普及促進し、一人でも多くの方に健康的な生活をお届けしてまいります。



献血者応援キャンペーン
(東京都赤十字血液センターにて実施)

日本赤十字 血液センターで行った これまでの「献血者応援キャンペーン」実施実績

2020年6月 ハチ公前献血ルームにて1日限定

2020年7月 献血カード・手帳持参で 自社店舗 割引制度開始
(現在は閉店しております)

2020年9月 東京都内献血ルーム 12か所にて1週間限定

2023年3月 東京都内献血ルーム 4か所にて5日間限定

2024年1月 東京都内献血ルーム 12か所にて1日限定



7 事業を通して貢献しているSDGs > 天然のサプリメントで叶える健康

2 天然のサプリメント「アマゾンフルーツ」で健やかな生活を

創業時、アグロフォレストリー産の多様なフルーツ原料をバランス良く消費するために、神戸に小さなジュースバーをオープンしたのが当社の出発点です。

アサイーを含む11種類のアマゾンフルーツはそれぞれで含まれる栄養素に特徴があり、熱帯アマゾンの厳しい環境下でストレスから発生する活性酸素から遺伝子を守るために、抗酸化性物質のほか豊富な栄養素を蓄えています。

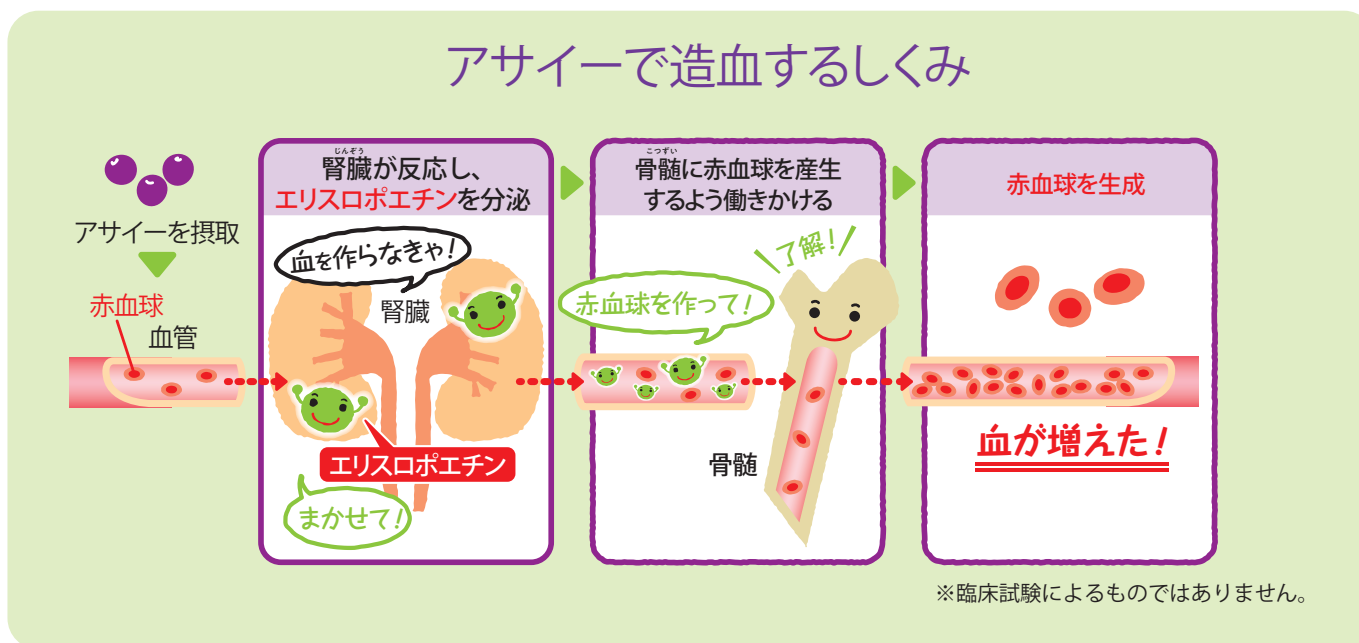
当社では、アマゾンの太陽と大地のエネルギーが蓄積されたフルーツを「天然のサプリメント」と例えており、フルーツがもつ本来の美味しさと栄養素を守って生活者の皆様にお届けすることもこだわりの一つとしています。そして、それらの機能性によって人々の健康に貢献できる可能性は無限大であり、人工的な薬やサプリメントに頼らない、フルーツで健康になるライフスタイルを引き続き提案していきます。



7 | 【資料3】 アサイーの造血機能性について

かねてよりアサイーは「貧血が改善した」「ヘモグロビン値が上がった」などの声が寄せられていました。ですが不思議なことにアサイーが含む鉄はレバーのように多くはなく、しかも動物性より比較的吸収効率が低い「非ヘム鉄」であるため、アサイーが含む鉄だけではなくその何かが作用しているのではないかと考えられてきました。

そこで「アサイーは血を増やし貧血を改善するのではないかと仮説を打ち立て、2018年に千葉大学と共同で研究を開始しました。マウスにアサイーを摂取させた結果、造血ホルモンのエリスロポエチン(EPO)の分泌が促され、赤血球数が増加することが明らかとなりました。ヒトの造血ホルモンが分泌する仕組みはマウスと共通するため、これによってアサイーはヒトでの効果や貧血症状の改善が期待される素材であることが示唆されました。



[論文タイトル] "Acai Extract Transiently Upregulates Erythropoietin by Inducing a Renal Hypoxic Condition in Mice"

[掲載] Nutrients, 2020,12 533; nu12020533

[論文 URL] <https://www.mdpi.com/2072-6643/12/2/533>

7 事業を通して貢献しているSDGs > 共感を生む製品をつくる

共感を生む製品をつくる

多量の原料を輸入し、資材や燃料を使用して加工製造し販売をする食品メーカーは、それだけ環境や社会に及ぼす影響が大きく、それだけ大きな社会的責任を背負っています。フルッタフルッタでは、生活者の皆様にお届けする製品のひとつひとつが安心・安全なものであり、環境への負荷を極力抑えたものであるよう、企業として日々努力しています。

関連するSDGs項目



つくる責任つかう責任



気候変動への対策

弊社の具体的な取り組み

- 1 CO₂削減量の可視化
- 2 資源の循環と廃棄物削減
- 3 シンプルなレシピで安心できる製品を



7 事業を通して貢献しているSDGs > 共感を生む製品をつくる

1 CO₂削減量の可視化

当社ではアグロフォレストリー原料によるCO₂削減量の可視化に取り組んでおり、削減量を商品パッケージやオンラインショップ上に表示しています。当社の製品が環境に与える影響を具体的に示すことで、お客様が少しでも環境に貢献している実感を持って商品を選ぶことができるよう配慮しています。

消費者はエシカルな選択をする際に、CO₂削減量の表示を参考に製品を選ぶことができます。

削減マークに表示されている数値は、CAMTAの組合員のアグロフォレストリー農場の高木樹種が吸収したCO₂から、ブラジルにおける生産や日本までの輸送時に排出されたCO₂を引き、原料の生産量で割った1gあたりの数値を、製品に配合された原料の使用量に応じて削減量として算出しています。(いずれも年間ベース)

なお算出根拠は、農場面積や生産量、CO₂排出量などの増減により変化します。

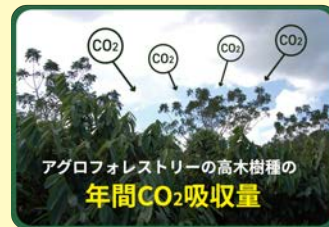
CO₂削減マークとは



— 様々な植物から成り立つアグロフォレストリーを表現

— 製品に使用しているアグロフォレストリー原料に合わせたCO₂削減量を表示

CO₂削減量の算出根拠



アグロフォレストリーの高木樹種の
年間CO₂吸収量



生産時・輸送時の排出量
農場内・CAMTA工場内・コンテナ輸送(ブラジルー日本間)



原料の年間生産量
(アマゾンフルーツ、カカオ豆、コショウなど)



原料1gあたりの
削減量

※数値は製品に表示した場合の
イメージです

7 事業を通して貢献しているSDGs > 共感を生む製品をつくる

2 資源の循環と廃棄物削減

当社では事業の取り組みのなかでもリサイクル可能な容器の使用や資材の削減により、CO₂排出量を抑制し、気候変動の影響を軽減することを目指しています。これらのユーザーのお客様に対しても環境配慮へのご協力を促す役割を果たし、持続可能な社会の実現に近づくための活動として推進してまいります。

10年以上リサイクル可能な紙製飲料容器を使用

当社では2010年よりアサイーのドリンク製品の『フルッタアサイーシリーズ』の容器に凸版印刷の「カートカン」を使用しています。

これは飲料容器としての機能性と資源の循環と環境への配慮を実現する紙製容器です。

耐水性の高いバリア性を持ちつつ、牛乳パックと同様のリサイクルが可能で、焼却時はダイオキシンなどの有害ガスも発生しません。また、間伐材を含む国産材を30%以上紙の原材料に利用しており、容器の売上の一部は凸版印刷を通じて「緑の基金」として寄付され、衰退している日本の林業の活性化にも貢献しています。

飲料容器からプラスチックストローの使用を廃止

2020年4月より『フルッタアサイーシリーズ』の195g入り商品において、プラスチック製ストローの添付を全廃しました。同品は紙製飲料缶の「カートカン」を使用しており、これにより容器裏面の資源識別マークを「紙パック」のみの表示とすることができました。

また本取り組みは、環境省が主催する「プラスチック・スマートキャンペーン」の取り組み事例として登録されています。

梱包資材を削減

オンラインショップにおいては、工場やブラジルから届いたままの大きな箱でお客様にお届けする取り組みを行っており、少量のセット商品に使用する梱包材を削減しています。



7 事業を通して貢献しているSDGs > 共感を生む製品をつくる

3 シンプルなレシピで安心できる製品を

フルッタフルッタは、アマゾンフルーツの恵みを多くの人に届けたいという思いから、素材を極力加工せず、美味しさと新鮮さを極力保った商品を製造しています。例えば、当社のロングセラー商品であるアサイースムージー『フルッタアサイー エナジー』は、ぶどう・アサイーピューレ・バナナ・レモンバーム抽出物・レシチン(大豆由来のみ)で作られています。砂糖や保存料、香料、着色料などの添加物は一切使用しておらず、シンプルな原材料表示は、特に健康意識の高い方に「安心して飲める」と喜ばれています。



7 事業を通して貢献しているSDGs > きずなを大切にする会社に

きずなを大切にする会社に

人と自然、ブラジルと日本、お客様とフルッタフルッタ。
さまざまな「きずな」がシンボルに刻まれています。

フルッタフルッタの社名は、ポルトガル語でフルーツを意味する FRUTA を2回繰り返し、フルーツがたくさんある様子やアグロフォレストリーの多様性を示しています。中央にはアマゾンで「きずな」の象徴とされているオウムの「アラウラ」を据え、「BELEM-KOBE」は神戸港からアマゾンへ渡った日本人移住者の歴史を表しています。「WILD TROPICAL FRUITS」は野性味あふれるフルーツで人々に美と健康をお届けしたいという想いをこめています。

フルッタフルッタは、アマゾンフルーツを通して、フルッタフルッタを支えてくださっているステークホルダーの皆様、そして自然とのきずなを大切にしていまいます。

弊社の具体的な取り組み

- 1 CAMTAをはじめステークホルダーとの共創
- 2 他社との協業～アグロフォレストリーアライアンス～



関連するSDGs項目



パートナーシップで
目標を達成しよう



7 事業を通して貢献しているSDGs > きずなを大切にする会社に

1 CAMTAをはじめステークホルダーとの共創

フルッタフルッタの事業の始まりは、CAMTA との出会いからでした。CAMTA なくしては当社の事業は成り立たず、また、SDGs の課題解決の取り組みはおろか、今日のフルッタフルッタが存在することも不可能です。そして、ご支援いただいている株主・投資家の皆様、当社の製品を購入されているエンドユーザーやお取引先の皆様、事業を応援いただいている関係会社の皆様など、ステークホルダーの皆様あっての「いま」があります。

当社では皆様とのパートナーシップがより強固なものとなり、それによってアグロフォレストリーの発展が促進されるよう、持続的な関係構築にも注力してまいります。



2 他社との協業～アグロフォレストリーアライアンス～

フルッタフルッタは他の企業と提携し、アグロフォレストリー産の多様な原料をバランスよく分業しながら使用することで、生態系を保ちながら全体の需要を高め、経済の力でアマゾンの森林という世界的な自然資本の回復を目指す試みを実践しています。これも、パートナーシップの一環と言えます。

アマゾンフルーツを販売することだけがフルッタフルッタの使命ではなく、多様なアグロフォレストリーの恵みを市場と連結させることこそがフルッタフルッタのビジネスの出発点です。

そこで当社では、多様な原料の供給先となる様々な産業の企業との協業によって消費を多様化する新たな仕組み「アグロフォレストリーアライアンス」の実現を目指しています。



※イメージ図